

# シネサラダ Cinema Sarada

## 敬老の日スペシャル

平成22年度優秀映画鑑賞推進事業

8月2日(月)発売開始

懐かしき昭和の名作を今ここに!

平成22年(2010年)9月25日(土)

阪南市立文化センター **サラダホール** 大ホール

「雪之丞変化」<sup>上映開始</sup> 10:00



1963年 大映(京都)

監督  
市川崑

出演

長谷川一夫  
山本富士子  
若尾文子  
市川雷蔵  
勝新太郎  
船越英二  
中村雁治郎  
他

「嵐を呼ぶ男」<sup>上映開始</sup> 12:30



1957年 日活

原作・監督・脚本

井上梅次

出演

石原裕次郎  
北原三枝  
金子信雄  
芦川いづみ  
白木マリ  
岡田真澄  
他

1935年に衣笠貞之助監督で空前の大ヒットを記録し、長谷川の代表作ともなった「雪之丞変化」を、同じ長谷川の主演で再映画化するという野心的な企画で、30年近い時を経て、妖艶な女形・雪之丞と無頼の俠盗・闇太郎の一人二役に挑んだ力演が注目される。冤罪で両親を失い、歌舞伎役者に育てられ人気女形となった雪之丞が、闇太郎らの助けを得て復讐を遂げる。 カラー作品 上映時間 1時間53分

大スター、石原裕次郎のイメージを決定的にした記念碑的な作品である。1958年の正月映画として公開され、総配収3億5600万円(当時の平均入場料62円)を超える大ヒットとなり、1954年に製作を開始した日活のその後を決定づけた。監督の井上梅次は新東宝からの移籍組だが、裕次郎が指を負傷してドラムを叩くことができず、とっさにマイクを握って歌い始めるというツボを押さえた演出で観客を楽しませ、この一代の大スターの誕生を導きだした。 カラー作品 上映時間 1時間41分

「悪名」<sup>上映開始</sup> 15:10



1961年 大映(京都)

監督

田中徳三

原作

今東光

出演

勝新太郎  
田宮二郎  
中村玉緒  
水谷良重  
他

「暁の脱走」<sup>上映開始</sup> 17:15



1950年 新東宝

監督

谷口千吉

脚本

黒澤明

原作

田村泰次郎

出演

池部良  
小沢栄  
山口淑子  
伊豆肇  
田中春男  
柳谷寛  
他

喧嘩は強いが情けには弱い、痛快無類の好男子、八尾の朝吉(勝新太郎)の活躍を描いた娯楽映画。威勢のいい河内弁と激しいアクションで話題を呼んだ。モートルの貞を演じた田宮二郎と勝新太郎のコンビも絶妙で興行的にも大ヒット、本作以降シリーズ化されて大映では15本製作された。そのほとんどの脚本を手掛けた依田義賢によれば、物語はある時期からは原作を離れ、シナリオ作家の創作だったとのことである。 カラー作品 上映時間 1時間34分

敗戦間近の中国戦線で激しい恋に落ちた上等兵の三上(池部良)と慰問団の歌手・春美(山口淑子)は、敵の捕虜となって送り還されてくる。二人を迎えたのは数々の汚名と上官の嫉妬。軍曹の助けを借り、部隊からの脱走を試みる二人に、残酷な結末が待ち受けていた。満洲映画協会のスター「李香蘭」として活躍していた山口をはじめ、中国で捕虜になった谷口、中国戦線に従軍していた池部、田村と、外地での体験を持つスタッフ・キャストの結集により、日本軍の非人道的な階級制度を激しく糾弾する野心作となった。 モノクロ作品 上映時間 1時間50分

**入場料 500円 自由席**

入れ替えなし。開場 9:45

※未就学児童のご入場はお断りいたします。

入場券販売所: 阪南市立文化センター

主催: 阪南市立文化センター/文化庁/東京国立近代美術館フィルムセンター 協力: コミュニティシネマセンター

〒599-0201 阪南市尾崎町35-3

阪南市立文化センター サラダホール 南海本線尾崎駅より徒歩3分

お問合せ 072-471-9100